

第19回テーマ展示

中也の本棚

日本文学篇

2022年 2月16日(水) — 2023年 2月12日(日)

※特別企画展期間(7月28日(水)ー10月2日(日))を除く

色んなものを
読んだの
だよ。



中也の本棚

日本文学篇

中原中也も読書家でした。中也の本棚にはどんな本が並んでいたのでしょうか？2016年のテーマ展示「中也の本棚——外国文学篇」に続き、今回は日本文学に焦点を当てます。

中也の蔵書の多くは失われていますが、日記や書簡には読書についての記述が多数残され、中也が読んでいた本を知ることができます。中也は高橋新吉、宮沢賢治、佐藤春夫などを愛読し、詩のほかにも幅広いジャンルの本を読んでいた。その読書体験は、中也が詩人として成長していく道のりを支えていたもののひとつであるといえるでしょう。

本展では、中也が読んだ本、中也による書評などを通じ、中也が受けた文学的影響や同時代の文学について紹介します。

【会期】
2022年2月16日(水)～2023年2月12日(日)
※特別企画展期間(7月28日(水)～10月2日(日))を除く

【入館料】
一般 330円(275円)
大学・高等専門学校の学生 220円(165円)
18歳以下、70歳以上 無料[要証明書]
※()内は20名以上の団体料金

【開館時間】
5月～10月 9:00～18:00 (入館は17:30まで)
11月～4月 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

【休館日】
毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、毎月最終火曜日
年末年始、展示替えのための臨時休館あり

【主催】
公益財団法人山口市文化振興財団

中原中也記念館

Nakahara Chūya Memorial Museum

〒753-0056 山口県山口市湯田温泉1-11-21
Tel. 083-932-6430 Fax. 083-932-6431
URL: <https://www.chuyakan.jp/>



ご来館の際は、マスク着用・手指消毒等、新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力をお願いいたします。

- ①～⑥ 中也が読んだ本より
- ① 高橋新吉『ダダイスト新吉の詩』
- ② 宮沢賢治『春と修羅』(複製)
- ③ 『宮沢賢治全集』第3巻
- ④ 佐藤春夫『退屈読本』
- ⑤ 萩原朔太郎『無からの抗争』
- ⑥ 草野心平『母岩』
- ⑦ 中也が鎌倉の家で使用していた本棚
- ⑧ 中原中也『新文芸日記』より昭和12年1月の読書欄
- ⑨ 中原中也原稿「夜汽車の食堂」



①



②



③



④



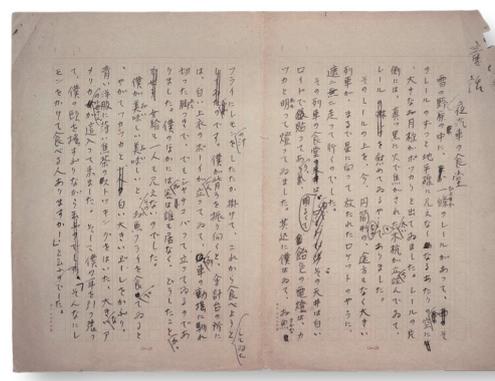
⑤



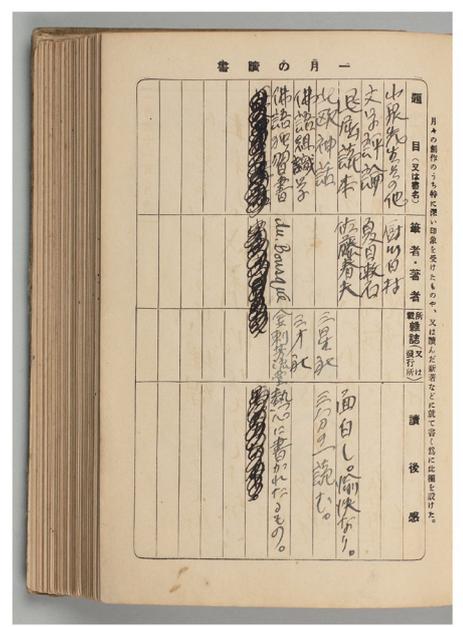
⑥



⑦



⑧



⑨